

# 平成30年度北方領土青少年等現地視察事業 実施報告

## 1 事業概要

### (1) 目的

北方領土の返還を求める都民会議が構成する青少年現地視察団を北方領土隣接地域に派遣し、青少年が自らの目で北方領土を望見するとともに、元島民の引き揚げ体験談を聞くなどの機会を提供することにより、北方領土問題を身近に捉え、返還要求運動を確実に継承してもらうことを目的とする。なお、参加青少年は、感想文とアンケートを提出するとともに、所属する学校や1月に開催する都民大会などで学習体験を発表するなど啓発事業に協力する。

### (2) 実施主体

北方領土の返還を求める都民会議

### (3) 実施期間

平成30年8月6日（月）から8日（水）まで（2泊3日）

### (4) 視察場所

北方領土隣接地域（北海道羅臼町、根室市）

### (5) 主なスケジュール

8月6日（月）標津サーモン科学館、野付半島ネイチャーセンター見学  
元島民による講話（宿泊：羅臼）

8月7日（火）国後島の船上視察、北方四島交流センター見学  
地元高校生による出前講座（宿泊：根室）

8月8日（水）納沙布岬・北方館の見学

### (6) 視察団員

26名 青少年17名（小学生1名、中学生12名、高校生4名）  
引率者・事務局9名

### (7) 事業経費

303万円（概算、(独)北方領土問題対策協会からの交付金を充当）

## 2 現地視察の様子



元島民の高岡さんの講話



熱心に質問する参加者



夕食後のふりかえり学習



船上視察の様子



潮を吹くクジラの後ろに国後島



北方四島交流センター見学



地元高校生の出前講座



納沙布岬から貝殻島を視察



北方館見学



四島のかげ橋の前で記念撮影

### 3 現地視察に参加した青少年の感想（自分ができることは何か）

- 地理の授業で北方領土を扱う時、今回の実体験を話しクラスメイトに聞いてもらい、話し合いの場をもったり調べ学習などをする。
- なるべく多くの人に領土問題を伝えて多くの人に関心を持ってもらう。
- 学校や地域イベントでの演説、友達と話し合う。
- 実際に北方領土を見て感じたこと、元島民の方から聞いた当時の様子や四島に対する思いを家族や友達に伝えること。会話すること。
- この問題のことを周りの人に伝えること。
- 今回学んだことを友達や家族に伝えることや署名活動に協力してもらえようと呼びかけること。
- 学校の新聞に北方領土の記事を載せる。
- 地理の授業の時に積極的に発表する。
- 友達や家族に少しでも多くの人に北方領土のことを知ってもらう。
- 今回の学習会で知ったことを沢山の人に発信していき、日本全体で北方領土返還についてもっと真剣に考えることができるようにしたい。
- 学校で、今回学んだことについて校内放送をする。家族や友人に話す。インターネットを使い発信する。
- みんなに北方領土についてより深い知識をつけてもらう。